

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[2] 環状ポリジメチルシロキサン類</p>	<p>【生物】</p> <p>生物試料 6.0g-wet</p> <p>ホモジナイズ フェトニル 8.0mL アセトン 16mL 1分間</p> <p>抽出 振とう 300rpm、4時間 超音波 10分間</p> <p>加ゲ-ト物質添加^{注1}</p> <p>遠心分離 2,000rpm、5分間 アセトン層分取</p> <p>定容 アセトン 20mL</p> <p>分取 10mL</p> <p>希釈・塩析 ミネラルウォーター 500mL 塩化ナトリウム 30g</p> <p>曝気・捕集 ガス洗浄瓶内の試料溶液^{注2}に、大気を120分間曝気^{注3}する。試料を通過した大気を固相カートリッジ (Sep-Pac Plus PS-2) に通し、環状ポリシロキサン類を捕集する。</p> <p>水分除去 窒素通気 0.50L/分、1時間</p> <p>溶出 アセトン 5.0mL</p> <p>濃縮 窒素バース 1mLまで</p> <p>GC/MS-SIM-EI</p> <p>内標準物質添加 ナフレン-d₈ 20ng</p> <p>(注1) オクタメチルシロテトラシロキサン-¹³C₈、デカメチルシロヘキサシロキサン-¹³C₁₀及びドデカメチルシロヘキサシロキサン-¹³C₁₂を、水質試料は各20ng、生物試料は各200ng添加</p> <p>(注2) ガス洗浄瓶内の試料は、曝気中、50°Cに加温し、超音波を照射する。</p> <p>(注3) 試料に曝気する大気は、流速が1.0L/分で、曝気前にスプレッドベンジレン樹脂及び固相カートリッジ (Sep-Pac AC-2 Plus Sort) を通過させ大気中の環状ポリシロキサン類を除去する。</p> <p>「平成30年度化学物質分析法開発調査報告書」から一部変更</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【生物】 (ng/g-wet) [2-1] 0.79 [2-2] 1.3 [2-3] 0.78</p> <p>分析条件： 機器 GC：Agilent 7890A MS：Agilent 5975C カラム Agilent J&W DB-5ms 30m×0.25mm、0.25μm (無極性、1m×0.32mmのプレカラムを接続)</p>